

北海道医療費適正化計画 第2回検討協議会の意見の整理

	第四期計画たたき台（案）	第2回検討協議会意見	素案（案）への反映状況
	第1章 総論 第1節 計画策定の趣旨 第2節 計画の位置づけ 第3節 計画の期間 第4節 計画に掲げる事項		
	第2章 医療費を取り巻く現状と課題 第1節 高齢化の現状と見直し 第2節 医療費の動向 1 全国の医療費 2 全国の高齢者の医療費		
1	3 北海道の医療費	現計画では振興局別データとなっており、北海道の中の比較ということでわかりやすかったが、こういうデータがあると良いのでは。	○ ご意見を踏まえ、振興局別データを作成することとし、次回計画（案）に反映いたします。 【資料3：5P、資料4：11P】
	4 北海道の高齢者の医療費		
2	第3節 生活習慣病やメタボリックシンドロームの状況 1 全国及び北海道の状況 (1) 特定健康診査の実施状況 (2) 特定保健指導の実施状況 (3) メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の状況 2 受療動向 3 死亡率	男性特有の病気、女性特有の病気、それぞれに対する対応策というものが、今後の取組でもよいので書いてはどうか。	－ 本計画の基礎となる他の道の計画に、性特有の疾病に対する対応策について分析したデータや記載がないため、現段階において本計画への記載は難しいと考えますが、次期本計画策定に向けて他の計画を踏まえ、記載の可否について検討いたします。 【資料3：8P～、資料4：16P～】
3	第4節 病床数の状況	人口10万人当たりの病床数について、北海道の広域分散的な、物理的な遠さ等含めて記載してはどうか。	○ ご意見を踏まえ、第1章第1節の記述と揃え、本節におきましても「広大な面積の中で人口が分散している」ことを追記いたします。 【資料3：17P、資料4：26P】
	第5節 平均在院日数の状況		
	第3章 基本理念と目標 第1節 基本理念 1 生活の質の維持及び向上 2 今後の人口構成の変化への対応 3 目標及び施策の達成状況等の評価		

	第四期計画たたき台（案）	第2回検討協議会意見	素案（案）への反映状況
	第2節 医療費適正化に向けた目標 1 健康の保持の推進に関する達成目標 (1) 特定健康診査及び特定保健指導の推進 ア 特定健康診査の実施率 イ 特定保健指導対象者の減少率 ウ 特定保健指導の実施率 (2) 生活習慣病等の予防 ア たばこ対策 イ 予防接種の推進 ウ 生活習慣病等の重症化予防の推進		
4	(3) 高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防の推進	<p>「体重や筋肉量の減少を主な要因とした低栄養や」という文章は、原因と結果が繋がらないので、「口腔機能低下に伴う低栄養を要因とした体重や筋肉量の減少」にしてはどうか。</p>	<p>○ ご意見を踏まえ、低栄養の要因として「口腔機能の低下」を追記いたしました。</p> <p style="text-align: right;">【資料3：27P、資料4：38P】</p>
	2 医療の効率的な提供の推進に関する達成目標 (1) 入院と在宅等の調和		
5	(2) 医療・介護の連携を通じた効果的・効率的なサービス提供の推進	<p>高齢者の「大腿骨骨折」では誤解を招くので正確に「大腿骨頸部骨折」と書いてはどうか。</p>	<p>○ ご意見のとおり修正するとともに、併せて転子部の骨折について記載いたします。</p> <p style="text-align: right;">【資料3：28P、資料4：39P】</p>
6		<p>骨粗鬆症があると骨折してしまう表現となっているが、実際は骨粗鬆症を伴って転倒し骨折するもの。また、歯がなく噛み合わせがないことにより転倒リスクが高まり骨折するという流れがあるので、奥歯の噛み合わせを維持することが大事であることを入れてはどうか。</p>	<p>○ ご意見を踏まえ、「奥歯がないなど噛み合わせの問題により、バランスを崩しやすくなる」ことを踏まえた上で転倒リスク回避の取組について追記いたします。</p> <p style="text-align: right;">【資料3：28P、資料4：39P】</p>
7		<p>施策に「骨粗鬆症検診の受診率向上」とあるが、目標に「取組の周知を進める」とあり、目標と施策が逆ではないか。</p>	<p>○ ご意見を踏まえ、目標と施策を、骨粗鬆症検査の実施等の取組の周知等に整合性を図り、記載いたします。</p> <p style="text-align: right;">【資料3：28P、資料4：39P】</p>

	第四期計画たたき台（案）	第2回検討協議会意見	素案（案）への反映状況
8	(3) 医療資源の効果的・効率的な活用	リフィル処方箋について「実態等を確認した上で、必要な取組を進めていくことが必要」とあるが、何を指しているか曖昧であり、現在、医師・患者共メリットが発見できないため、「実態等を確認した上で、リフィル処方箋に利点があった場合は進めていく」等としてはどうか。施策の記載は案文のままで良いと思われる。	○ ご意見を踏まえ、目標について「保健医療機関等への電子処方箋の導入状況等、地域の実態を確認した上で、必要となる取組を進めることが重要です」と記載いたします。 【資料3：29P、資料4：40P】
	(4) 後発医薬品等の使用促進 (5) 医薬品の適正使用の推進 第3節 計画期間における医療費の見通し		
	第4章 目標を達成するため道が取り組むべき施策 第1節 健康の保持の推進に関する施策 1 保険者による特定健康診査及び特定保健指導の推進 2 保険者と市町村、事業所等との連携 3 生活習慣病等の対策の取組		
9	(1) 食生活や運動による健康づくり	「生活習慣の改善に加え、生活習慣の定着等による生活習慣病の発症予防」とあるが「良い生活習慣病の定着」等形容詞が付くのではないか。	○ ご意見を踏まえ、「適切な生活習慣の定着」に修正いたします。 【資料3：34P、資料4：47P】
	(2) 糖尿病等の生活習慣病の重症化予防 (3) がん対策		
10	(4) たばこ対策	受動喫煙に重きを置いている書きぶりとなっているが、喫煙者本人に対しても一定のアプローチは必要であり、保険者や自治体で喫煙者本人に対する取組をしているところもあるので、もう少し踏み込んだ書きぶりにはどうか。	○ ご意見を踏まえ、道の取組と共に、喫煙者本人に対するアプローチについて被用者保険が行っている独自の取組や連携して行われている取組について記載いたします。 【資料3：37P、資料4：51P】
	(5) 歯と口腔の健康づくり (6) 予防接種の推進 4 高齢者の健康づくりや介護予防等の取組 (1) 高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防		
11	(2) 高齢者の積極的な社会参加	高齢者の就労と医療費の関係について、相関係数が低くそれほど大きな関連ではないこと、特定の県が飛び抜けて引っ張っている印象があり、意味のある数字かわからないため、この項目については訂正がいるのではないか。	○ ご意見を踏まえ、就労と医療費の関係については相関係数が低いため記載を削除し、高齢者の社会活動や生きがい等の支援について記載いたします。 【資料3：41P、資料4：58P】

	第四期計画たたき台（案）	第2回検討協議会意見	素案（案）への反映状況
	第2節 医療の効率的な提供の推進に関する施策 1 医療機関の機能分担・連携の推進		
12	2 医療・介護連携を通じた効果的・効率的なサービス提供の推進	施策に「保険者協議会等において国保連と連携した市町村におけるモデル事業の横展開」とあり、この記載では保険者側も大きな役割があると誤解されるのではないか。	○ ご意見を踏まえ、保険者に誤解がないよう、「保険者協議会等において、骨粗鬆症検査の実施等の取組の把握、周知等に取り組む」と記載いたします。 【資料3：45P、資料4：64P】
13	3 医療資源の効果的・効率的な活用	抗菌薬の使用について、地域医療専門委員会と連携した表現にしてはどうか。	－ 地域医療専門委員会において協議している「北海道地域医療計画」に本項目に該当する記述はないものの、医療費適正化計画においては国の方針にあるため「効果が乏しいというエビデンスがあることが指摘されている医療や医療資源の投入量に地域差のある医療」と記載いたします。 【資料3：45P、資料4：65P】
	4 後発医薬品等の使用促進 5 重複受診や頻回受診等の適正化 6 重複投薬等の適正化 7 診療報酬明細書（レセプト）等の点検の充実 8 ICT化の促進 9 国保データベース（KDB）及び健康・医療情報データベースの活用		
	第5章 計画推進に向けた体制整備と関係者の役割 第1節 体制整備と関係者の連携及び協力 1 道の保険者協議会の役割 2 保険者等及び医療の担い手等関係者との連携及び協力 第2節 道や関係者の役割 1 道の役割 2 保険者等の役割 3 医療の担い手等の役割 4 道民の役割		
	第6章 計画の推進 第1節 PDCAサイクルに基づく計画の推進 第2節 計画の達成状況の評価 1 進捗状況の公表 2 進捗状況に関する調査及び分析 3 実績評価 4 評価結果の活用 第3節 計画の周知		

